

なう点からこの併用療法は緑膿菌感染症に有用と考えられる。

2. 動脈硬化の基礎と臨床

司会: 渡辺 昌平 (肺研), 伊藤 健次郎 (一外)

2-1. 病理形態学よりみた大動脈硬化症の数値的表現

岩崎 勇 (一病)

動脈硬化症を数的客観的に表現しようという試みが1957年 Gore and Tejada によりなされている。われわれは大動脈硬化症を、経験的、慣習的に強、中、弱と表現しているが、Goreの方法に従い教室の材料50例で検討したところ、よく結果のあうもの、全然、異なった結果のものもあった。Goreは病変の程度をG1(リポイド症)、G2(硬化板)、G3(潰瘍、壊死、出血)、G4(石灰化)とし、各係数を1, 10, 100, 100とし、さらに病巣の占める面積を0(5%以下)、A(6-15%)、B(16-33%)、C(34-50%)、D(51%以上)とし、各係数を1, 4, 10, 16, 30とした。D1252は病変が大動脈内面の50%以上で、病変部全体を10として、10%がG1, 20%G2, 50%がG3, 20%がG4の病変であることを示す。指数は $30(1/10 \times 1 + 2/10 \times 10 + 5/10 \times 100 + 2/10 \times 100) = 2163$ となる。

病変は0から3000まで分布するので $1/30$ して0から100の間に指数を収めるようにした。D1252は $2163 \times 1/30 = 72$ となり比較的高度の病変となる。教室例で結果のあわなかった例は、表面よりみて、中等度の病変がGoreの指数で3で軽度であったり、逆に軽度というのが30で中等度であったりした。問題としては、硬化板とみた変化の深層に顕微鏡的石灰化を認めたり、石灰化とみたものが、顕微鏡的に硝子化のみであったりした場合であった。病変の全部を顕微鏡的に観察することはほとんど不可能で、この種の判定の方法は、簡便で且つ客観性をもっているようにみえるが病変の縦の方向への変化や顕微鏡的な質の変化を考慮に入れると、なおいくつかの問題点があり、改善の余地が残っていると思われる。しかしながら病変を数的にできるだけ客観的に表現しようとするのは時代の趨勢であり、今後十分検討する必要があると思われる。

2-2. 肺循環系における動脈硬化

長谷川鎮雄・梶田 隆・栗山喬之・斎藤康栄・木村敬二郎・長谷川堯・明星志貴夫・滝沢弘隆・渡辺昌平(肺研)

肺循環系は、大循環系とことなり、その圧が $1/6$ 程度の

低圧系であるため、動脈硬化現象も、大循環系に比して、きわめて特異的な面がある。直径 1000μ 以上の弾性動脈系では、胎生期には、その中膜の厚さ、構造が大動脈に類似し、生後2カ年位で、成人型の構造を完成するが、肺動脈高血圧の存在する先天性心疾患症例、高地住民などにあつては、この変化過程がおくれ、あるいは停止する現象がみられる。直径 $100\sim 1000\mu$ 程度の筋性動脈系では、筋層は生後しだいに減少するが、先天性心疾患群、高地住民では、中膜筋層の肥厚が持続する。健常例にあつては、年齢の増加とともに、弾性動脈系中膜の線維化、筋性動脈系内膜の線維化が起こり、加齢とともに、弾性減少の傾向を示す。他方、このような動脈硬化現象が原因不明な状態で、きわめて高度に出現する場合があります。本態性肺動脈高血圧と呼んでいる。われわれが最近経験した1例では、25才の男性で、EKGによる高度の右心負荷と、右心カテーテルによる 100 mmHg を越える原因不明の肺動脈圧上昇をみとめ、喀血により死亡。組織学的検索により、肺動脈系の、著明なアテローム硬化、内膜の肥厚、中膜の肥厚、一部に壊死性動脈炎像をみとめ、本態性肺動脈高血圧症と確診された。このような疾患は、肺動脈系における特異な硬化現象として、今後さらに病因解明に努力することが大きな課題と考えられる。

2-3. 内科よりみた虚血性心疾患の臨床

小川道一・斎藤俊弘・宿谷正毅・中山 章(二内)

虚血性心疾患 Ischemic heart disease とは、冠状動脈の疾患で、心筋への血液供給が減るが、中絶することによって生じる急性、もしくは慢性の心機能低下を意味する。1962年に WHD では、心疾患分類のなかで、虚血性心疾患としてまとめて、1) 労作性狭心症 2) 心硬塞(陳旧性と急性のもの) 3) 中間型 4) 無痛性虚血性心疾患 (a)心電図以外は無兆候 (b)非特異的な慢性心筋障害、などのように分類している。虚血性心疾患患者では、急性期は別として、慢性状態になれば、病状に応じた生活指導が必要である。今回は狭心症患者に対するリハビリテーションとして、負荷試験に関して論じる。一般に臨床で用いられている方法として、Master